

令和8年度 1学年

ツラバス

科目内容紹介



長野県蘇南高等学校

総合学科

1年 組 番 氏名

教科	教養	科目名	産業社会と人間	年次	1 年	単位数	2
履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必履修 ・ <input type="checkbox"/> 選択		選択条件				
対象者	<input type="checkbox"/> 四大文系 ・ <input type="checkbox"/> 四大理系		<input checked="" type="checkbox"/> 教養 ・ <input type="checkbox"/> 就職準備	<input type="checkbox"/> 文理 ・ <input type="checkbox"/> 経ビ ・ <input type="checkbox"/> もの		<input checked="" type="checkbox"/> 全員	

学習目標	地域を題材とした教材や他者との関わりを通して、自己規準の醸成とその基盤づくりを目標とする。また、問題解決能力や協働性の基礎である社会人基礎力(教養・礼儀・所作・基礎統計力・プレゼン力)、問いを立てる力、分析する力、違いを受け入れ尊重する姿勢、自己理解・自己調整力などの力の育成も併せておこなう。		
目指す資質・能力	知識・技能	社会教養。データ収集、統計、プレゼンなどの社会人基礎力。情報を探し出す力。先行事例・先行研究を活用する力。礼儀・所作。	
	思考・判断・表現	適切な問いを立てる力。定性的・定量的なデータから傾向や要因を読み取る・汲み取る力。根拠も基にした表現力。経験と興味関心を関連付ける力・意味を見出そうとする力。	
	主体的に学習に取り組む態度	自己の価値観を整理し、これからの人生に活かそうとする姿勢。相手の意見を尊重し、違いを受け入れ協働する姿勢。職業観・勤労観を確立しようとする姿勢。	
使用教科書	なし	使用副教材	なし

年間学習計画	前 期	時間	後 期	時間
	1 講義(キャリア講演会)	2	8 フィールドワークⅡ(続き)	12
2 フィールドワークⅠ ・テーマ設定,グループワーク,インタビュー準備 ・「妻籠宿(フィールドワーク)」 ・スライド作成,代表選考会	16	9 就業体験 ・就業体験準備 ・就業体験 ・レポート,お礼状作成	4	
蘇峽祭 フィールドワークⅠ 発表	1	10 フィールドワークⅡ(続き)	14	
3 講義(キャリア講演会)	4	11 体験授業Ⅰ ・南木曾の伝統・文化の体験	4	
4 履修計画 ・科目選択説明会	2	暮らしの交差点(3月) フィールドワークⅡ 発表	1	
5 高大接続 ・名古屋外国語大学 南木曾プログラム見学	2	合 計	70	
6 フィールドワークⅡ ・仮説の設定(グループワーク) ・仮説の深化・インタビュー準備	6			
7 体験学習Ⅰ ・南木曾の伝統・文化の体験	2			

履修要件	1 指定する教材を持参し、意欲的に授業に参加すること。 2 欠課時数が年間授業時数の1/5以内であること。	
修得要件	1 上記 履修要件の項目を満たすこと。 2 課題等の提出を期限内にすること。 3 年間評価が10段階で「2」以上であること。	
評価の方法	知識・技能	事前・事後学習におけるワークシートの提出
	思考・判断・表現	展示・発表に向けた制作物への取り組み プレゼン等の表現力
	主体的に学習に取り組む態度	事前・事後学習におけるワークシートの提出 授業態度、ペアやグループ活動への取り組みの様子
学習にあたっての注意とアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークをおこなうことが多いため、積極的に参加しよう。また、他者との違いを感じ自分を見つめ直せる機会にもなるため、感じ方や受け取り方、考え方の違いから視野を広げる機会にしよう。 ・講演会など他者の経験を順序立てて聞ける機会のため、現状の自分と重ね合わせ、自己理解ならびに今後自分にどう生かせるかを考えてみよう。 ・フィールドワークや体験学習など外に出る機会や地域の方と話す機会もあるため、地域の雰囲気や知らないこと、楽しそうなことを積極的に取り組み、たくさんお話をしてみよう。 ・データ処理やプレゼンなど社会人になって必要になる基礎力を学ぶため、めげずに取り組もう。 ・ワークシートや課題等の提出物は、期限を守って提出しよう。 	

教科	国語	科目名	現代の国語	年次	1年	単位数	2
履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択		選択条件	全員			
対象者	<input type="checkbox"/> 四大文系 <input type="checkbox"/> 四大理系 <input type="checkbox"/> 教養 <input type="checkbox"/> 就職準備		<input type="checkbox"/> 文理 <input type="checkbox"/> 経ビ <input type="checkbox"/> もの <input checked="" type="checkbox"/> 全員				

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。		
目指す資質・能力	知識・技能	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する事項を理解することを通して、人間と世界についての豊かな知識と技能を身につける。	
	思考・判断・表現	目的や場に応じて情報を聞いたり読んだりし、目的や意図に応じて伝えたいことを話したり書いたりすることで、唯一解がなくても最適解を判断する力を身につける。	
	主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者をリスペクトして協働する力を身につける。	
使用教科書	標準 現代の国語(第一学習社)	使用副教材	・LT現代文基本(浜島書店) ・カラー版新国語便覧(第一学習社)

	前 期	時間	後 期	時間
	年間学習計画	世界を広げる 話し方の工夫 待遇表現 論理的な表現	12	社会と人間 相手に伝える案内をする 理想の修学旅行をプレゼンする 合意形成のための話し合いを行う
言葉が開く世界 情報の探索と選択 情報源の明示 スピーチで自分を伝える 第1回考査		8	第3回考査	18
人間と文化 書き方の基礎レッスン 身近な製品の取り扱い説明書を作成する 実用的な手紙文の書き方 第2回考査		15	現代と社会 生活の中の表現 地域の魅力を紹介する 自校の生徒の生活実態を調査する 社会に対する意見文を書く 学年末考査	
合 計			70	

履修要件	1 指定する教材を持参し、意欲的に授業に参加すること。 2 欠課時数が年間授業時数の1/5以内であること。	
修得要件	1 上記 履修要件の項目を満たすこと。 2 定期考査の得点の合計、もしくは、定期考査の得点と提出物点の合計が平均点の半分以上であること。 3 年間評価が10段階で「2」以上であること。	
評価の方法	知識・技能	定期考査(70%)・課題提出(30%)による。
	思考・判断・表現	定期考査・課題提出およびアセスメント(振り返りシート)による。
	主体的に学習に取り組む態度	出席状況、授業への取り組みおよびアセスメント(振り返りシート)による。
学習にあたっての注意とアドバイス	先生の話をしっかり聞き、ノートをきちんと取る。特に文法事項に関してよく理解し、課題などで繰り返し練習して身につけるようにする。 毎時間漢字の小テストを行うため、漢字練習をしっかり行う。(語彙を増やすことにもなる。) わからない単語は辞書で調べるなど、語彙を増やす。 声に出して文章を読む。 課題の提出期限を守る。	

教科	国語	科目名	言語文化	年次	1年	単位数	2
履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修修 ・ <input type="checkbox"/> 選択		選択条件	全員			
対象者	<input type="checkbox"/> 四大文系 ・ <input type="checkbox"/> 四大理系 ・ <input type="checkbox"/> 教養 ・ <input type="checkbox"/> 就職準備		<input type="checkbox"/> 文理 ・ <input type="checkbox"/> 経ビ ・ <input type="checkbox"/> もの ・ <input checked="" type="checkbox"/> 全員				

学習目標	古文・漢文・文学的文章にふれることで、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。					
目指す資質・能力	知識・技能	言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する事項を理解することを通して、人間と世界についての豊かな知識と技能を身につける。				
	思考・判断・表現	目的や場に応じて情報を聞いたり読んだりし、目的や意図に応じて伝えたいことを話したり書いたりすることで、唯一解がなくても最適解を判断する力を身につける。				
	主体的に学習に取り組む態度	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者を尊重して協働する力を身につける。				
使用教科書	標準言語文化(第一学習社)		使用副教材	・常用漢字ダブルクリア五訂版(尚文出版) ・カラー版新国語便覧(第一学習社)		

凡例 【文】…近現代の文学的文章 【古】…古典の古文分野 【漢】…古典の漢文分野

年間学習計画	前 期		時間	後 期		時間
	【文】小説を読む とんかつ		6	【古】随筆を読む 枕草子(形容詞・形容動詞) 徒然草(用言)		8
【古】古文入門 児のそら寝(歴史的仮名遣い)		3	【文】小説を読む 一作品		6	
【漢】漢文入門 訓読に親しむ		3	【古】和歌と俳諧	第3回考査 第3回考査	3	
【文】散文にふれる 詩数篇 短歌・俳句	第1回考査	4	【古】歌物語を読む 伊勢物語		9	
【文】小説を読む 羅生門		8	【古】軍記物語を読む	学年末考査	9	
【古】古文に親しむ なよ竹のかぐや姫(動詞)	第2回考査	7		学年末考査		
【漢】漢文に親しむ 故事成語	第2回考査	4				
			合 計		70	

履修要件	1 指定する教材を持参し、意欲的に授業に参加すること。 2 欠課時数が年間授業時数の1/5以内であること。	
修得要件	1 上記 履修要件の項目を満たすこと。 2 定期考査の得点の合計、もしくは、定期考査の得点と提出物点の合計が平均点の半分以上であること。 3 年間評価が10段階で「2」以上であること。	
評価の方法	知識・技能	定期考査(70%)・課題提出(30%)による。
	思考・判断・表現	定期考査・課題提出およびアセスメント(振り返りシート)による。
	主体的に学習に取り組む態度	出席状況、授業への取り組みおよびアセスメント(振り返りシート)による。
学習にあたっての注意とアドバイス	先生の話をしっかり聞き、ノートをきちんと取る。特に文法事項に関してよく理解し、課題などで繰り返し練習して身に付けるようにする。 毎時間漢字の小テストを行うため、漢字練習をしっかり行う。(語彙を増やすことにもなる。) わからない単語は辞書で調べるなど、語彙を増やす。 声に出して文章を読む。 課題の提出期限を守る。	

教科	地理歴史	科目名	地理総合	年次	1年	単位数	2
履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修修 ・ <input type="checkbox"/> 選択		選択条件				
対象者	<input type="checkbox"/> 四大文系 ・ <input type="checkbox"/> 四大理系 ・ <input type="checkbox"/> 教養 ・ <input type="checkbox"/> 就職準備		<input type="checkbox"/> 文理 ・ <input type="checkbox"/> 経ビ ・ <input type="checkbox"/> もの ・ <input checked="" type="checkbox"/> 全員				

学習目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究・解決する活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力をつける。						
目指す資質・能力	知識・技能	人々の生活文化が地理的環境の影響で多様性を持つこと、また、地球的課題の傾向・自然災害との関連性等について理解し、人間と世界についての豊かな知識と技能をつける。					
	思考・判断・表現	諸資料を適切に使い、世界から見た日本の位置や国内・国家間の結びつき、持続可能な社会づくり、地域性を踏まえた防災などについて、学んだ知識を活用して思考する力。					
	主体的に学習に取り組む態度	地域的諸課題や地球的諸課題について、自分ごととしてとらえその解決の方向性を追究し、学んだことが未来につながることを想像する力。					
使用教科書	高等学校 新地理総合(帝国書院) 新高等地図(東京書籍)			使用副教材	図説地理資料 世界の諸地域NOW2026(帝国書院)		

	前 期		時間	後 期		時間
	年間学習計画	1. 地図と地理情報システム 地球上の位置と時差、地図の役割と種類		10	3. 生活文化の多様性と国際理解(後半) 世界の言語・宗教と人々の生活 歴史的背景と人々の生活 世界の産業と人々の生活	
2. 結びつきを深める現代世界 現代世界の国家と領域 グローバル化する世界		第1回考査	12	4. 地球的課題と国際協力 複雑に絡み合う地球的課題 地球環境問題、資源エネルギー問題 人口問題、食料問題、都市・居住問題	第3回考査	8
3. 生活文化の多様性と国際理解(前半) 生活文化の多様性 世界の気候と人々の生活		第2回考査	14	5. 自然環境と防災 日本の自然環境、地震・津波と防災 火山災害と防災、気象災害と防災 自然災害への備え	学年末考査	8
				合 計		70

履修要件	1. 上記の教材や必要に応じて指示された物を持参し、意欲的に授業に参加すること。 2. 欠課時数が規定の授業時数の1/5以内であること。	
修得要件	1. 上記、履修要件の項目を満たすこと。 2. 実施するすべての定期考査を受験し、課題等の提出を求められた場合は期限内に済ませること。 3. 年間評価が10段階で「2」以上であること。	
評価の方法	知識・技能	定期考査・課題提出による。(50%程度)
	思考・判断・表現	定期考査・課題提出およびアセスメント(振り返りシート)による。(30%程度)
	主体的に学習に取り組む態度	出席状況、授業への取り組み、ルーブリックおよびアセスメント(振り返りシート)による。(20%程度)
学習にあたっての注意とアドバイス	・欠席をせず、毎時間の授業のなかで小さなことでもよいので新たな発見や理解を積み重ねてください。 ・様々な作業・統計資料のグラフ化・模式図の作成などで、地理の様々な現象を視覚的にとらえることができます。面倒くさがらずに取り組んでください。	

教科	地理歴史	科目名	歴史総合	年次	1年	単位数	2
履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 選択		選択条件				
対象者	<input type="checkbox"/> 四大文系・ <input type="checkbox"/> 四大理系・ <input type="checkbox"/> 教養・ <input type="checkbox"/> 就職準備		<input type="checkbox"/> 文理・ <input type="checkbox"/> 経ビ・ <input type="checkbox"/> もの・ <input checked="" type="checkbox"/> 全員				

学習目標	社会事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野にたち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。					
目指す資質・能力	知識・技能	近現代の歴史変化に関わる諸事情について、世界とそれの中の日本を広く相互的な視野からとらえ、人間と世界についての豊かな知識と技能を身に付ける。				
	思考・判断・表現	歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを基に自ら問いをたてて探究する力を養う。				
	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的につい追求、解決しようとする態度を養うとともに、学びを自己調整する力を身に付ける。				
使用教科書	歴史総合 新訂版(実教出版)		使用副教材	問いからはじまる歴史総合(とうほう)		

年間学習計画	前 期	時間	後 期	時間
	第1編 近代化と私たち 第1章 近代化への胎動 第2章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 第3章 欧米諸国と日本の国民国家形成 第4章 帝国主義の時代 第1回考査	25	第6章 経済危機と第二次世界大戦 第3回考査	15
第2編 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第5章 第一次世界大戦と大衆社会 第2回考査	第3編 グローバル化と私たち 第7章 冷戦と脱植民地化 第8章 多極化する世界 第9章 グローバル化と現代世界 学年末考査		20	
			合 計	70

履修要件	1 指定する教材を持参し、意欲的に授業に参加すること。 2 欠課時数が年間授業時数の1/5以内であること。	
修得要件	1 上記 履修要件の項目を満たすこと。 2 実施するすべての定期考査を受験し、課題等の提出を期限内にすること。 3 年間評価が10段階で「2」以上であること。	
評価の方法	知識・技能	定期考査・課題提出による。
	思考・判断・表現	定期考査・課題提出やアセスメント(振り返りシート)やルーブリックによる。
	主体的に学習に取り組む態度	出席状況、授業への取り組みやアセスメント(振り返りシート)やルーブリックによる。
学習にあたっての注意とアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席をせず、毎時間の授業を大切にすること。 ・過去の出来事に興味を持ち積極的に学ぼうとすること。 ・気になったことは自ら調べ、様々な教科と関連付けること。 	

教科	数学	科目名	数学 I	年次	1 年	単位数	3
履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修修 ・ <input type="checkbox"/> 選択		選択条件				
対象者	<input type="checkbox"/> 四大文系 ・ <input type="checkbox"/> 四大理系 ・ <input type="checkbox"/> 教養 ・ <input type="checkbox"/> 就職準備		<input type="checkbox"/> 文理 ・ <input type="checkbox"/> 経ビ ・ <input type="checkbox"/> もの ・ <input checked="" type="checkbox"/> 全員				

学習目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養う。		
目指す資質・能力	知識・技能	高等学校数学の基本的な概念や内容を理解することで、人間と世界についての豊かな知識と技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	身近な事象を数学化し、知識を活用して思考する力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	どのような学習問題に対しても真摯に取り組み、試行錯誤を続け、自己調整する力を養う。	
使用教科書	数学 I Standard(東京書籍)	使用副教材	WIDE 数学 I + A(東京書籍)

	前 期	時間	後 期	時間
	年間学習計画	第1章 数と式 式の計算 実数 1次不等式	25	第4章 図形と計量 鋭角の三角比 三角比の拡張 三角形への応用
第2章 集合と命題 集合 命題と論証		第5章 データの分析 データの分析 データの分析の応用		20
第3章 2次関数 2次関数とそのグラフ 2次方程式と2次不等式		20	仮説検定の考え方	105
合 計				

履修要件	1 指定する教材を持参し、意欲的に授業に参加すること。 2 欠課時数が年間授業時数の1/5以内であること。	
修得要件	以下の観点を総合して100点満点で評点をつける。評点が25点以上を取得すること。 1 定期考査および課題（知識・技能、思考・判断・表現） 2 授業への出席や取り組む姿勢（主体的に学習に取り組む態度）	
評価の方法	知識・技能	定期考査・課題提出による。
	思考・判断・表現	定期考査・課題提出、アセスメント(振り返りシート)やルーブリックによる。
	主体的に学習に取り組む態度	出席状況、授業への取り組み、課題提出、アセスメント(振り返りシート)やルーブリックによる。
学習にあたっての注意とアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席をせず、毎時間の授業に集中して取り組もう。 ・予習よりも復習のほうが大切なため、その日に学習した練習問題を家で毎日1問以上解こう。 ・以下の学習をすると力がついていきます。 <ol style="list-style-type: none"> ①「公式を覚える」のために”例”や”例題”を解く ②「公式の使い方」を増やすために”例題”を解く ③「入試に向けた基本的な解法を覚える」ために”応用例題”や”章末問題”を解く 	

教科	数学	科目名	数学A	年次	1年	単位数	2
履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修修 ・ <input type="checkbox"/> 選択		選択条件				
対象者	<input type="checkbox"/> 四大文系 ・ <input type="checkbox"/> 四大理系		<input checked="" type="checkbox"/> 教養 ・ <input type="checkbox"/> 就職準備	<input type="checkbox"/> 文理 ・ <input type="checkbox"/> 経ビ ・ <input type="checkbox"/> もの		<input checked="" type="checkbox"/> 全員	

学習目標	場合の数と確率、図形の性質について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な活動を通して事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育む。		
目指す資質・能力	知識・技能	確率統計学や幾何学の基本的な概念や内容を理解することで、人間と世界についての豊かな知識と技能を身に付ける。	
	思考・判断・表現	身近な事象を数学化し、知識を活用して思考する力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	どのような学習問題に対しても真摯に取り組み、試行錯誤を続け、自己調整する力を養う。	
使用教科書	数学A Standard(東京書籍)	使用副教材	WIDE 数学 I + A(東京書籍)

年間学習計画	前 期	時間	後 期	時間
	第1章 場合の数と確率 集合と場合の数 確率とその基本性質 いろいろな確率	第1回考査 第2回考査	35	第2章 図形の性質 三角形と比 円の性質 空間図形 第3章 数学と人間の活動 数える はかる 遊ぶ
			合 計	70

履修要件	1 指定する教材を持参し、意欲的に授業に参加すること。 2 欠課時数が年間授業時数の1/5以内であること。		
修得要件	以下の観点を総合して100点満点で評点をつける。評点が25点以上を取得すること。 1 定期考査および課題（知識・技能、思考・判断・表現） 2 授業への出席や取り組む姿勢（主体的に学習に取り組む態度）		
評価の方法	知識・技能	定期考査・課題提出による。	
	思考・判断・表現	定期考査・課題提出、アセスメント(振り返りシート)やルーブリックによる。	
	主体的に学習に取り組む態度	出席状況、授業への取り組み、課題提出、アセスメント(振り返りシート)やルーブリックによる。	
学習にあたっての注意とアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席をせず、毎時間の授業に集中して取り組もう。 ・予習よりも復習のほうが大切なため、その日に学習した練習問題を家で毎日1問以上解こう。 ・以下の学習をすると力がついていきます。 ①「公式を覚える」ために”例”や”例題”を解く ②「公式の使い方」を増やすために”例題”を解く ③「入試に向けた基本的な解法を覚える」ために”応用例題”や”章末問題”を解く 		

教科	保健体育	科目名	体育	年次	1年	単位数	3
履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必履修 ・ <input type="checkbox"/> 選択		選択条件				
対象者	<input type="checkbox"/> 四大文系 ・ <input type="checkbox"/> 四大理系 ・ <input type="checkbox"/> 教養 ・ <input type="checkbox"/> 就職準備		<input type="checkbox"/> 文理 ・ <input type="checkbox"/> 経ビ ・ <input type="checkbox"/> もの ・ <input checked="" type="checkbox"/> 全員				

学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、集団行動を身に付け、体力の向上を図るとともに、健康、安全や運動について理解を深めて、計画的に運動に親しめるようにする。		
目指す資質・能力	知識・技能	・競技に求められる運動特性などを理解し、人間と世界についての豊かな知識と技能を身に付ける	
	思考・判断・表現	・生涯にわたって運動を豊かに継続するため、知識を活用して思考する力 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて自ら問いをたてて探求する力	
	主体的に学習に取り組む態度	・ルールやマナーを守り、学びに真摯に取り組む力 ・一人一人の違いを認め、他者をリスペクトして協働する力	
使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)	使用副教材	現代高等保健体育ノート(大修館書店)

	前 期	時間	後 期	時間
	年間学習計画	オリエンテーション・体ならし 体力づくり(ランニング) クラスマッチに向けて	12	球技② クラスマッチに向けて
体づくり運動 新体力テストを活用して運動計画を立てる		10	体育理論 スポーツの発祥と発展	1
体育理論 スポーツの発祥と発展		1	球技③ 男子:バレーボール 女子:バレーボール	14
球技① 男子:ソフトボール 女子:ソフトボール		13	球技④ 男子:卓球 女子:卓球	14
体育理論 スポーツの発祥と発展		3	体育理論 スポーツの発祥と発展	1
ダンス 創作ダンス		14	球技⑤ 男子:バドミントン 女子:バドミントン	14
			合 計	105

履修要件	1 授業のルールを守り、意欲的に授業に参加すること。 2 欠課時数が年間授業時数の1/5以内であること。		
修得要件	1 上記 履修要件の項目を満たすこと。 2 課題等の提出を期限内にすること。 3 年間評価が10段階で「2」以上であること。		
評価の方法	知識・技能	・スキルテスト、ゲーム中の動き方 ・筆記テスト(体育理論)	
	思考・判断・表現	・「振り返りシート」への記入内容 ・自己や他者・周囲への気付き	
	主体的に学習に取り組む態度	・欠席、遅刻、忘れ物の回数 ・準備・片付け、他者との協力の様子	・運動量
学習にあたっての注意とアドバイス	・実技科目であるため、出席し、積極的に活動することが重要である。運動技能のみならず、服装や集団行動、仲間とのコミュニケーションなど総合的に評価する。		

教科	保健体育	科目名	保健	年次	1年	単位数	1
履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択		選択条件				
対象者	<input type="checkbox"/> 四大文系 <input type="checkbox"/> 四大理系 <input type="checkbox"/> 教養 <input type="checkbox"/> 就職準備		<input type="checkbox"/> 文理 <input type="checkbox"/> 経ビ <input type="checkbox"/> もの <input checked="" type="checkbox"/> 全員				

学習目標	保健の見方・考え方を働かせ、生涯を通じて明るく豊かで活力のある生活を営むために、個人及び社会における健康・安全について理解を深め、自他や社会における健康課題を発見し、合理的に解決する方法を実践したり他者に伝える能力を身につける。		
目指す資質・能力	知識・技能	「現代社会と健康」、「安全な社会生活」にかかわる用語等を理解し、人間と世界についての豊かな知識と技能を身に付ける	
	思考・判断・表現	「現代社会と健康」、「安全な社会生活」にかかわる事象から課題を発見し、自ら問いをたてて探求する力	
	主体的に学習に取り組む態度	学習内容を実生活や社会の動きに重ね合わせ、未来の自分を創造する力	
使用教科書	現代高等保健体育(大修館書店)	使用副教材	現代高等保健体育ノート(大修館書店)

	前期	時間	後期	時間
	年間学習計画	【1単元】現代社会と健康 健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 精神疾患の特徴 精神疾患の予防 <div style="text-align: right;">第2回考査</div>	18	【1単元】現代社会と健康 精神疾患からの回復 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり 【2単元】安全な社会生活 事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法 <div style="text-align: right;">学年末考査</div>
合 計			35	

履修要件	1 指定する教材を持参し、意欲的に授業に参加すること。 2 欠課時数が年間授業時数の1/5以内であること。	
修得要件	1 上記 履修要件の項目を満たすこと。 2 実施するすべての定期考査を受験し、課題等の提出を期限内にすること。 3 年間評価が10段階で「2」以上であること。	
評価の方法	知識・技能	・定期考査・提出課題
	思考・判断・表現	・「保健ノート」の取り組み内容 ・定期考査・各種課題の取り組み内容
	主体的に学習に取り組む態度	・欠席、遅刻、早退、忘れ物の回数 ・授業への取り組みの様子
学習にあたっての注意とアドバイス	・授業ノートの提出を定期的に行っているため、板書の書き取りや穴埋め問題などをしっかりと行い、積極的に授業に参加すること。 ・保健は1単位の授業で年間授業数が少ないため、欠課数が基準を超えないように十分に気を付けること。	

教科	音楽	科目名	音楽 I	年次	1 年	単位数	2
履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修修 ・ <input type="checkbox"/> 選択		選択条件				
対象者	<input type="checkbox"/> 四大文系 ・ <input type="checkbox"/> 四大理系 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 教養 ・ <input type="checkbox"/> 就職準備		<input type="checkbox"/> 文理 ・ <input type="checkbox"/> 経ビ ・ <input type="checkbox"/> もの ・ <input checked="" type="checkbox"/> 全員				

学習目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。					
目指す資質・能力	知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。				
	思考・判断・表現	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。				
	主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。				
使用教科書	MOUSA1 (教育芸術社)		使用副教材	なし		

年間学習計画	前 期	時間	後 期	時間
	【歌唱】 校歌 翼をください 花 小さな空	12	【歌唱】 Caro mio ben Heidenröslein この道	8
【器楽】 ギター「日曜日よりの使者」	8	【器楽】 ギター「第三の男」 ヴァイオリン「きらきら星」	16	
【鑑賞】 組曲「動物の謝肉祭」 オペラ「カルメン」	8	【鑑賞】 世界の諸民族の音楽 日本の伝統音楽	8	
【楽典】 音名と音部記号 音符と休符、拍子、リズム	6	【創作】 順次進行をもとにメロディーをつくろう	4	
	合 計			70

履修要件	1 指定する教材を持参し、意欲的に授業に参加すること。 2 欠課時数が年間授業時数の1/5以内であること。	
修得要件	1 上記 履修要件の項目を満たすこと。 2 実施するすべての筆記試験・実技試験を受験し、課題等の提出を期限内にすること。 3 年間評価が10段階で「2」以上であること。	
評価の方法	知識・技能	授業への取り組み(学習プリントを含む)及び、筆記試験・実技試験による。
	思考・判断・表現	授業への取り組み(学習プリントを含む)及び、筆記試験・実技試験による。
	主体的に学習に取り組む態度	授業への取り組み及び、振り返りシートによる。
学習にあたっての注意とアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査は実施しないが、授業内で单元ごとに試験を実施する。 ・歌唱や器楽等の実技は練習を積み重ねることが大切である。欠席をせず、毎時間の授業に集中して取り組むこと。 ・普段から自国や諸外国の文化や歴史について関心を持ち、自身の感性を磨くこと。 	

教科	芸術	科目名	美術 I	年次	1 年	単位数	2
履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必履修 ・ <input type="checkbox"/> 選択		選択条件				
対象者	<input type="checkbox"/> 四大文系 ・ <input type="checkbox"/> 四大理系 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 教養 ・ <input type="checkbox"/> 就職準備		<input type="checkbox"/> 文理 ・ <input type="checkbox"/> 経ビ ・ <input type="checkbox"/> もの ・ <input checked="" type="checkbox"/> 全員				

学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせることで深い学びを実現する。特に、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。						
目指す資質・能力	知識・技能	美術の歴史や文化を学び、対象を観察し、幅広い美術の表現方法から選択して制作する活動を通して人間と世界についての豊かな知識と技能を身に付ける。					
	思考・判断・表現	感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練る過程で、唯一解がなくても最適解を判断する力を養う。					
	主体的に学習に取り組む態度	主題を追求し、表現方法の試行錯誤を続ける力を養う。					
使用教科書	新・高校生の美術1(日本文教出版)			使用副教材	なし		

	前 期	時間	後 期	時間
	年間学習計画	オリエンテーション 観ること 描くこと・名刺で自己紹介	4	立体演習 陶芸続き
刃物の基本 カッターナイフの使い方		2	デザイン基礎 絵の具・色鉛筆の基礎	10
絵画基礎 水張り クロッキー 鉛筆の基礎		9	版画 ドライポイントプレートor繰り返し模様	10
立体基礎 形体の理解 三面図の読み方(演習) 陶芸		20	デザイン演習 日本の伝統	10
			合 計	70

履修要件	1 指定する教材を持参し、意欲的に授業に参加すること。 2 欠課時数が年間授業時数の1/5以内であること。	
修得要件	1 上記 履修要件の項目を満たすこと。 2 完成した課題の提出を期限内にすること。 3 年間評価が10段階で「2」以上であること。	
評価の方法	知識・技能	授業への取り組みの様子、提出課題及びアセスメント(振り返りシート)による。
	思考・判断・表現	授業への取り組みの様子、提出課題及びアセスメント(振り返りシート)による。
	主体的に学習に取り組む態度	出席状況、授業への取り組みの様子、提出課題及びアセスメント(振り返りシート)による。
学習にあたっての注意とアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席をせず、毎時間の授業に集中して取り組もう。 ・自分自身で考え、常により良い表現を求めて試行錯誤しよう。 ・上手いかわい時こそ、考えること・行動することを持続しよう。 ・自分以外の人の表現や助言にも心を傾けよう。 ・作品は必ず完成させたものを提出すること。作品未提出者は、補習を行う。 ・制作物は展示を行います。他の人に見てもらいたいと思えるよう、こだわりをもった取り組みをしよう。 	

教科	外国語	科目名	英語コミュニケーション I	年次	1 年	単位数	3
履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ <input type="checkbox"/> 選択		選択条件				
対象者	<input type="checkbox"/> 四大文系 ・ <input type="checkbox"/> 四大理系 ・ <input type="checkbox"/> 教養 ・ <input type="checkbox"/> 就職準備		<input type="checkbox"/> 文理 ・ <input type="checkbox"/> 経ビ ・ <input type="checkbox"/> もの ・ <input checked="" type="checkbox"/> 全員				

学習目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、4技能5領域を総合的に用いた学習を通じて、日常的・社会的な話題について、目的や場面、状況に応じて適切なコミュニケーションが図る態度・技能を身に付ける。		
目指す資質・能力	知識・技能	外国語で実際に聞くこと、読むこと、書くこと、話すことを通じて、外国語および人間と世界についての豊かな知識と技能を身につける。	
	思考・判断・表現	目的や場面、状況などに応じて、外国語の知識を活用して情報や考えなどを的確に理解したり、考えの核心を伝え合ったりできるようにする。	
	主体的に学習に取り組む態度	学びに真摯に取り組み学びの自己調整をする力と、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。	
使用教科書	Power On English Communication I Revised (東京書籍)	使用副教材	Power On English Communication I Revised スタディノート(東京書籍) 単語帳DataBase3300(桐原書店)

	前 期	時間	後 期	時間
	年間学習計画	Lesson 1 Japan's New Tourism	10	Lesson 7 No Plastic or No Future
Lesson 2 Light from Creatures		10	Lesson 8 Oh My Cod! パフォーマンステスト	10
Lesson 3 One Small Goal at a Time		10	Lesson 8 Is Esports a Real Sport?	10
Lesson 4 Miniature Life パフォーマンステスト		10	Lesson 10 Never Too Late to Learn and Relearn 総まとめ	10
Lesson 5 Banana Paper		10	パフォーマンステスト	5
Lesson 6 Patterns in Human Behavior パフォーマンステスト		10		
			合 計	105

履修要件	1 指定する教材を持参し、意欲的に授業に参加すること。 2 欠課時数が年間授業時数の1/5以下であること。	
修得要件	1 上記履修要件の項目を全て満たすこと。 2 実施する全ての定期考査、パフォーマンステストを受験し、課題等の提出を期限内にすること。 3 年間評価が10段階で「2」以上であること。	
評価の方法	知識・技能	小テスト、定期考査、パフォーマンステストによる。
	思考・判断・表現	定期考査、パフォーマンステストとアセスメント(振り返りシート)による。
	主体的に学習に取り組む態度	出席状況、授業への取り組み及びアセスメント(振り返りシート)による。
学習にあたっての注意とアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 辞書ないしそれに類する機能を有する器具を毎時間必ず持参し、分からない単語があればすぐに調べる 積極的に英語を使った表現を模索し、また自他のことを理解したりしようとする 教科書の予習・復習や定期的実施する単語テストなどに向けて、学習習慣の確立および継続的な改善を 	

教科	家庭	科目名	家庭基礎	年次	1年	単位数	2
履修区分	<input checked="" type="checkbox"/> 必修修 ・ <input type="checkbox"/> 選択		選択条件				
対象者	<input type="checkbox"/> 四大文系 ・ <input type="checkbox"/> 四大理系 ・ <input type="checkbox"/> 教養 ・ <input type="checkbox"/> 就職準備		<input type="checkbox"/> 文理 ・ <input type="checkbox"/> 経ビ ・ <input type="checkbox"/> もの ・ <input checked="" type="checkbox"/> 全員				

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
目指す資質・能力	知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	
	思考・判断・表現	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	
	主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。	
使用教科書	新図説家庭基礎(実教出版)	使用副教材	生活学navi(実教出版) おとなドリル(教育図書)

	前 期	時間	後 期	時間
	年間学習計画	授業内容オリエンテーション	1	消費者として自立する 18歳成年をむかえる
食生活を作る 炭水化物 脂質 たんぱく質 無機質 ビタミン その他の食品 必要な栄養素量		12	住生活を作る 人と住まいの歴史 住まいの選択	5
衣生活を作る 衣服の機能 衣服素材の性能 衣服の手入れ 被服実習		18	人とかがわって生きる 人生80年を見通す 労働について考える 家族に関する法律の理念と背景 子どもとかがわる 高齢者とかがわる	18
消費者として自立する 主体的な消費行動と契約		4	食生活を作る 調理実習	5
			1年間のまとめ	4
			合 計	70

履修要件	1 指定する教材を持参し、意欲的に授業に参加すること。 2 欠課時数が年間授業時数の1/5以内であること。	
修得要件	1 上記 履修要件を満たすこと。 2 実施するすべての定期考査を受験し、課題等の提出を期限内にすること。 3 考査と提出物の合計点が、年間で全体の平均の2分の1以下にならないこと。	
評価の方法	知識・技能	定期考査・課題提出・実習態度による。
	思考・判断・表現	定期考査・課題提出・実習態度およびアセスメント(振り返りシート)による。
	主体的に学習に取り組む態度	出席状況、授業への取り組みおよび生活への関心、アセスメント(振り返りシート)による。
学習にあたっての注意とアドバイス	欠席をしない。 自分で課題意識を持ち、毎時間の授業に集中して取り組もう。 どんな生活を作りたいか想像しながら取り組もう。 提出物は期限を守り、必ず提出する。 授業内容の定着のための努力をする。 (施設設備の都合上、実習の実施時期が変更になる可能性もある)	